

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、先週あたりからずいぶんと涼しくなりました。季節の変わり目には体調を崩しがちですので、規則正しい生活を心がけて健康管理に十分注意してください。

今日の地域清掃活動お疲れ様でした。私たちは普段意識することはあまりありませんが地域の方々には大変お世話になっています。例えば、先日の体育大会では、約二週間にわたってグラウンドで練習を行いました。学校周辺の皆様には放送や音楽などでかなりご迷惑をおかけしました。しかし、大変好意的に協力していただき、皆さんが思いきり練習に打ち込むことができました。

地域の方々の理解と協力があって皆さんは伸び伸びと学校行事などに取り組むことができるのです。年間数回の計画ですが、日ごろの感謝の気持ちを込めて地域清掃活動に一生懸命取り組んでください。

今日で前期が終了しますが、皆さんの頑張り、努力に改めて敬意を表します。まず体育大会、夏休みの終盤からあの炎天の下、三年生を中心として一生懸命練習に取り組み、当日はご観覧いただいた皆さんの皆様から多くの声援と拍手を頂戴しました。これは出場する種目に全力で取り組む皆さんへの高い評価そのものであったと思います。

次に、七月までの出席率は九十五%、遅刻率は五十三%、いずれも昨年より向上しています。しかし、この数字は一人一人の心がけてもっと良くなると思っています。今、三年生は進路実現に向けて全力投球中ですが、休まないこと、時間を厳守することが社会人としてどれだけ大切なことかを再認識しているのではないのでしょうか。一、二年生の皆さんで欠席、遅刻がやや多い人は今からでも遅くはありません。少しでも減らすことが出来るよう、もう一度自分の生活リズムを見直してください。

さて、先日までの第二回定期考査期間中の午後に先生方は二日間研修を受けました。二十日は、「VLD」症候群の予防について「でした。これ

は、パソコンなどのモニターディスプレイやキーボードなどの端末を連続して長時間使用すると眼や身体、精神に異常をきたすというもので、特にここ数年、身体の不調を訴える人が急増しているそうです。皆さんも長時間のパソコン、携帯電話、スマートフォンなどの使用を控えるよう注意してください。

また、前日の十九日は熊本県の高校や盲学校の校長先生として活躍された大畑誠二先生をお迎えして貴重な話をお伺いすることができました。この先生は、志願者が激減した高校の立て直し、商業高校や受験校での資格取得率、国公立進学者の向上、盲学校での特別支援学校の再編整備など、様々な学校で実績を上げた先生です。

先生の講話の中で特に印象に残り、皆さんにもぜひお伝えしたいことが二つあります。まず一つ目は大きい声で挨拶、返事が出来ない人は社会では通用しないということです。社会生活を送る上で最も大切なことは、お互いの信頼に基づいた人間関係であり、これらの基本となるものは挨拶と返事であるということを強調しておられました。

二つ目は、二時間を超す講演を「凡事徹底」という言葉で結ばれました。誰でも出来る小さな事の積み重ね、簡単なことの積み重ねが夢や目標を実現させることになり、これからの二十一世紀を生き抜く上で大きな力となるということです。

誰でも出来る平凡なこと、例えば「あいさつ」「返事」「掃除」などを徹底しましょう。必ずや平凡なことが非凡となり、これからの自分自身の生きる道が開けていくことだと思います。一人ひとりが、今、成すべき事に全力で取り組んでくれることを願って私からの話を終わります。